

異業種からのスタート 熟成により風味を出した 高級えびせんべいの 土産品で活路を開く

熟成させることで加わる風味

羽田空港で売られている東京土産で、売り上げ上位の常連となっているえびせんべい。原材料の50%にエビを使ったせんべいにタマネギやサクラエビなどのチップをまぶし、かき揚げをイメージした商品です。その後、京都や大阪の土産品でも、同社は次々にヒット商品を生み出しています。

「今に至るまでの道のりは苦難の連続でした」と代表取締役の村田博昭社長。父の経営する建設業を手伝うため郷里の朝来市に戻ったものの、事業の先行きに展望を見出せずにはいません。新たな事業を模索する中で、エビ好きの村田社長はえびせんべいの製造を思い付きます。全国のえびせんべいを食べ歩き中で、突出していたのが名古屋のメーカーの商品。母親に食べさせてみると「こんなおいしいせんべいがあるの」と感激しながらも「硬すぎて食べにくい」とこぼしました。これをヒントに、硬すぎないえびせんべい作りが始まりました。

試作を繰り返す中、いくらエビの成分を高めても「風味が物足りない」という問題を乗り越えられずにはいません。ある時窓辺に置きっ放しになっていた半製品を焼いてみたところ「びっくりするほどおいしかった」。知己の大学教

授に確かめてみると「熟成のおかげ」でした。こうしてエビをすりつぶして練り、一度焼いた後に乾燥させ、約10日間熟成させてからさらに焼く、もしくは揚げて仕上げるえびせんべいが完成しました。

可能性を信じて設備投資

2003年の第二創業以来、10年ほどは資金繰りもままならなかったとのこと。どん底の状況で村田社長は賭けに出ます。05年、せんべいを焼く一次焼成機の購入を決断したのです。「いつか売れるという妙な自信があった」と当時の心境を語ります。ただ投資額は3,000万円。取引金融機関である但馬銀行を通じて紹介されたのがひょうご産業活性化センターの設備貸与制度でした。「制度の最大のメリットは、割賦の支払いが終わると設備が当社の所有になること。こうした機械は、30年は使えるので大いに助かった」と振り返ります。

販路の開拓も手探りでした。飛び込みで百貨店を訪問。げんな表情で出てきたバイヤ

ーも一口せんべいを口に含むと目の色が変わり、徐々に扱い先を増やしていきました。それでも機械の費用ばかりがかさみ、赤字から抜け出せません。5年ほど前、取引先の菓子問屋が保有する東京の和菓子製造会社が解散するという情報が入ってきました。村田社長は「百年を超える老舗ブランド。うちの製品と組み合わせれば突破口が開ける」と確信し「俺に預けてくれ」と問屋の社長に直訴。かき揚げをイメージした試作品を食べてもらったところ一発でゴーサインが出され、3カ月後には羽田空港で売り上げ1位を記録します。

事業が軌道に乗り出してからも14年に1回、17年と18年にそれぞれ2回ずつ、同制度を活用し、練り機や焼成機をそろえてきました。その際には事前



えびせんべいの詰め合わせセット

に同センターのひょうご中小企業技術・経営力評価制度を活用。評価ランクが上がったことで、一番低い料率で制度を利用することができています。

銀行より利率が低いことに加え、「県の制度を活用していると間くとメーカーも手早く機械を用意してくれ、納品も前倒しになった」ことにもメリットを感じて

います。同社の製品は土産品として現在も多くの引き合いが来ているようで、今年7月に完成予定の新工場の準備を急いでいるところです。

会社概要
株式会社佳長

所在地 朝来市山東町一品231-2
代表取締役 村田博昭
事業内容 エビを主原料とする菓子の製造

TEL 079-676-5001
URL <https://www.e-yoshinaga.com/>

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業の方に代わってセンターが設備を購入し、中小企業の方に長期（10年以内）かつ固定金利（年率0.70%～1.95%）で割賦販売またはリースするものです。2016年度から10%の保証金が原則不要となりました。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-977-9086